《ブラジル》サッカー全国選手権 フラメンゴが２年連続Ｖ＝判定に泣いた２位インテル

優勝を決めたフラメンゴ（Lucas Figueiredo）

　２５日、サッカーの全国選手権の最終節が行われ、フラメンゴが２年連続７回目の優勝を飾った。２６日付現地紙が報じている。

　この日は同選手権最終節のため、例年通り、全１０試合が同時刻に一斉スタート。２１時３０分にキックオフした。

　優勝がかかっていた首位フラメンゴはこの日、サンパウロ市モルンビ・スタジアムでサンパウロと対戦。前半から積極的に攻めるも、好機を逃し続けた。前半終了間際、逆に相手のファウルから得たフリーキックをルシアーノが決め、サンパウロが１点を先取した。

　フラメンゴは後半６分、アラスカエタのコーナーキックを、グスターヴォ・エンリケとブルーノ・エンリケがヘッディングのリレーでつないでゴール。１－１の同点とした。

　だが、後半１３分、ダニエル・アウヴェスの相手ゴールへ抜けるパスを、フォワードのパブロが滑り込んでゴール。これでサンパウロが２－１とリードした。

　結局、ボール支配率で６４％、シュートも相手の４本に対して１９本も打ちながら、最終戦は黒星となった。優勝の行方は、ポルト・アレグレでの２位インテルナシオナルのコリンチャンス戦次第となった。

　勝ち点差２で追うインテルは、フラメンゴが最終戦を引き分けか負けの場合、このコリンチャンス戦に勝てば優勝だった。だが、最後まで得点を奪うことができず、０－０の引き分け。この瞬間にフラメンゴの２年連続での優勝が決まった。

　インテルは前半３０分にＰＫの判定を覆された上、前半４４分と後半５１分にも、得点を決めたかに見えたがオフサイドで覆えるなど、運にも見放された。

　この結果、リベルタドーレス杯に進出するチームも正式に決まった。ブラジルからは、フラメンゴ、インテルナシオナル、アトレチコ・